

5周年記念開催決定！！

Short Shorts Film Festival 2003

(名古屋開催) 6月21日(土)～6月27日(金)



5周年特別企画 本年度アカ受賞監督を含む5有名監督のショートフィルムを公開！
アカデミー賞受賞ショートフィルムも上映！

名古屋オリジナルプログラム A.M.I / e-A.M.I プレゼンツ「S F Short-Films」

中野裕之監督の「S F」シリーズ第3弾は初のショート・フィルム集。SSFF2003名古屋開催のオリジナルプログラムとして上映致します。



名古屋オリジナルプログラム 「マウントポジション」

渡辺一志監督がお届けするこだわりのフィルム・セレクション。SSFF2003名古屋開催のオリジナルプログラムとして上映致します。





日本発、国籍を越えたショートフィルムの祭典

日本で初めて本格的な短編映画をフィーチャーする映画祭として誕生した「Short Shorts Film Festival」。本年度、本映画祭は1999年の第1回開催から数えて、ついに5周年を迎えます。

短い作品で、1、2分、長くても30分程度、ジャンルもコメディ、サスペンス、ヒューマンドラマ、アニメーションと多彩なショートフィルムは、短編ゆえのシャープな切れ味と、見終わった後の余韻が大きな魅力です。また、自らの才能をアピールするアイテムとして、欧米では、無名の映画監督がこのショートフィルムをきっかけに一躍スターダムにのしあがるのが珍しくありません。ルーカス、スピルバーグ、ベッソンなどの監督も、ショートフィルムでその才能の片鱗をアピールし、注目されたことがはじまりでした。

「Short Shorts Film Festival」は、このようなショートフィルムを通してビジュアルカルチャーの国際的な交流をはかることをミッションとしてスタート。過去4年間で全国6都市、7会場で8万人以上の観客を動員しました。更に、昨年は日本国内のナショナルツアーのほかにも、ロサンゼルスでのキックオフ特別スクリーニングを敢行、さらにシンガポールでは、2年連続開催を行うなど、日本発の映画祭が海外に展開する「ユニーク」な国際映像交流事業として、注目を集めています。

5年目を迎える「Short Shorts Film Festival 2003」は、世界56カ国から1300本以上の応募を集め、ますます国際的な映画祭としての質を高めています。作品アジアを起点とするショートフィルムのムーブメントの中心的存在として、人材の育成発掘 地域社会との結びつきの活性化 文化交流 次世代型ビジュアルコンテンツの開発という4つの柱を中心にさらに成長していきます。

5周年特別企画 本年度おか-受賞監督を含む5有名監督のショートフィルムを公開！

MAESTRO SHORT SHORTS (マエストロ・ショートショート)

「Short Shorts Film Festival」は、初年度のジョージ・ルーカス監督作品から続き、著名監督の初期作品を毎年上映してきました。本年度は、5周年を迎えたことを記念して、先日行われたアカデミー賞でもおか-を獲得した「戦場のピアニスト」ロマン・ポランスキー監督、「トーク・トゥー・ハー」のペドロ・アルモドバル監督他を含む総勢5人の豪華監督達の初期作品を上映します。

今年の上映ハイライト：アカデミー賞受賞ショートフィルムも上映！

ACADEMY SHORT SHORTS (アカデミー・ショートショート)

アカデミー賞®ショートフィルムカテゴリ - の受賞作品を紹介するプログラム設置。

WAR & PEACE SHORT SHORTS (戦争&平和・ショートショート)

「戦争&平和」を主たるテーマとした作品を、インターナショナル・セレクションの各プログラムで1本ずつ上映いたします。

60 SECOND SHORT SHORTS (60セカンド・ショートショート)

究極の1分に凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニング」も各プログラムに、特別上映として紹介いたします。

「ショートフィルムを通じたムーブメントからグローバルな‘Visual Art Community’の創造」

ビジュアルカルチャーの原点ともいえるショートフィルム。現在進行形の情報産業社会を占う未来地図としてのショートフィルムを通じて、私たちは、世界に点在するビジュアルメーカーが集結する国境を越えた活動と21世紀型コミュニティーの創造を、日本を起点に推進します。

「映像文化・映像産業とテクノロジーを考える」

今後のアートシーンを牽引する原石の輝きを秘めたショートフィルム。20世紀に開花した映像文化は、常にそれを支える人間の知恵と英知の結晶であるテクノロジーと表裏一体で成長してきました。21世紀をむかえた今、情報産業大革命の最中において、映像文化とテクノロジーの関係を更に深く考察していきます。

過去3年間の「アメリカン・ショート・ショート フィルムフェスティバル」、さらに昨年の「Short Shorts Film Festival 2002」の実施、運営は、様々な方々の協力ネットワークを抜きに語るできません。本年度開催においても、引き続き、4年間で培ってきたネットワークの力で、より進化した映画祭を創りあげていきます。下記に、本年度の主な協力ネットワークをご紹介します。

ジョージ・ルーカス氏 & ロマン・ポランスキー氏

「アメリカン・ショート・ショート フィルムフェスティバル」の実施意義をご理解いただき、第1回実施に自らの作品をご提供いただいたジョージ・ルーカス氏。これを契機に今後も本映画祭を支援したいとの立場から、本年度実施にあたって公式な激励メッセージを寄せていただきました。ジョージ・ルーカス氏が日本の映画祭を応援するのは過去に例がないとのこと。

また、先日行われたアカデミー賞で監督賞を受賞した巨匠、ロマン・ポランスキー氏からも「ショートショート フィルムフェスティバル」、そして日本で映像クリエイターを目指す方々への激励レターが届きました。ショートフィルムでその才能を開花させた氏より、ショートフィルム制作の成功の秘訣をアドバイスいただきました。

各実施都市

実施都市では、それぞれ地域自治体や、商工会議所、商店会、ボランティアグループなどを巻き込んだフィルムフェスティバルとして演出していきます。本年度は、札幌、松本、名古屋、大阪、福岡での開催を予定しております。

昨年同様、ノミネート作品より下記アワードが選定されます。

実行委員会選定による表彰作	ショートショートアワード
特別審査員選定による表彰作	審査員特別賞
観客選定による表彰作	オーディエンスアワード

特別審査員には、**プレミア編集長 グレゴリー・スター氏**、**映画監督 黒沢清氏**、**クレルモンフェラン短編映画祭代表 ロジェー・ゴナン氏**、**欧州で活躍する撮影監督 永田鉄男氏**が決定しています。(あと1名追加予定)は、東京会場にて行われます。投票結果は、名古屋会場およびホームページにて発表されます。

<今年度上映作品について>

世界中のフィルムメーカーから公募で集められたの熱のこもった応募作品に加え、映画祭の国際ネットワークを駆使して集められた、この映画祭ならではの、海外話題作をプログラムしてご紹介します！

《一般プログラム》

世界中から1300本以上、56ヶ国からの応募作品が集まりました。この膨大な国際色豊かな応募作品の中から46作品、22ヶ国の作品を、日米の実行委員会メンバーが正式に「オフィシャルセレクション」として選考。このラインアップが、アワードの審査対象となります。

インターナショナル・セレクション(全6プログラム)

普段あまり見ることができない日本未公開の作品を中心に紹介。

ナショナル・セレクション(1プログラム)

日本国籍の作品並びに日本をテーマに制作された作品を紹介。

《アカデミー・ショートショート》

現在までの米国アカデミー賞ショートフィルムカテゴリ-の受賞作品、ならびにノミネート作品を集めて、プログラム化。世の中、低予算、短期間で作られたショートフィルムばかりではありません。ここに世界一流のショートフィルム作品群をご紹介します。

《マエストロ・ショートショート》

5人の有名監督の初期ショートフィルムを紹介！過去4年間にわたり、ジョージ・ルーカス、マーティン・スコセッシ、ティム・バートン、ジェーン・カンピオン監督など、世界の第一線で活躍する監督たちの初期ショート作品を上映してきました。今年は、5周年を記念して、先日のアカデミー賞でもオスカを獲得した監督2名含む、下記作品を「インターナショナルセレクション」内にそれぞれ1作品上映します。

ロマン・ポランスキー(ポーランド/フランス)

“ローズマリーの赤ちゃん”(68年)や「テス」(79年)の監督・脚本。
本年度のアカデミー賞において、監督賞(戦場のピアニスト)受賞。

ペドロ・アルモドバル(スペイン)

“オール・アバウト・マイ・マザー”(99年)の監督・脚本。00年アカデミー賞で最優秀外国語映画賞受賞。本年度アカデミー賞にてオリジナル脚本賞受賞(トーク・トゥ・ハー)

アレキサンダー・ペイン(アメリカ)

“アバウト・シュミット”の監督。この作品でゴールデングローブ賞、主演男優賞と監督賞を受賞。
「ギャング・オブ・ニューヨーク」の脚本も手がける(本年度アカデミー賞脚本賞ノミネート)。

ヤン・クーネン(オランダ/フランス)

“ドーベルマン”(97年)で、新しいインタテキスト・ムーヴ-の旋風を世界に巻き起こす。仏映画界の妖精、エミール・ベール主演のショート作品「Le Dernier Chaperon Rouge」の撮影は、審査員の永田鉄男氏が担当。

フェルナンド・メイレーレス(ブラジル)

2002年カンヌ国際映画祭の正式出品作品、2002年東京国際映画祭正式出品作品の話題作「CITY OF GOD」の監督。この作品のショートフィルム版を日本で初公開予定。

《名古屋会場オリジナルプログラム》

名古屋開催のみのオリジナルプログラムとして、A.M.I/e-A.M.Iがお届けする中野裕之監督プロデュース作品「SF - Short Films」および渡辺一志監督プロデュース作品「マウントポジション」を上映致します。中野裕之監督・渡辺一志監督の来場も予定しております。

《60セカンド・ショートショート》

1分に凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニグ」をA~Fの各プログラムに、特別上映として紹介いたします。短い中にもセンスが光る、究極の1分ショートをお楽しみください。

昨年に引き続き、日本縦断開催を前にハリウッドでの特別上映決定！

日本で唯一、ツアー開催という特徴を持つフィルムフェスティバル「Short Shorts Film Festival」は、今年も東京を皮切りに日本全国6都市(別紙参照)での開催を予定しています。作品上映だけでなく、オリジナルのオープニングセレモニー、トークショーの実施など、各都市の実行委員会のアイデアあふれる個性的なフェスティバル演出にご期待ください。

また、昨年初めて実施したハリウッド「エジプシャン・シアター」での特別開催が、今年も決定しました。日本での開催に先駆けた4月28日～5月1日までの3日間、日本で誕生したフィルムフェスティバルが、アメリカの映画の殿堂で披露されます。

より進化するショートフィルムの祭典に、今年もぜひご注目下さい。

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL

宣伝活動

Short Shorts Film Festival 2003 メインビジュアル

本年度映画祭のメインビジュアルは、5回目の開催を記念して、数字の『5』を全面にだした明確なデザインに決定いたしました。数字の『5』は、フィルムの帯を模したリボンで表現。色調は青とカラシ黄色を使い、ハイコントラストに数字を強調しています。過去4年間の顔をモチーフにしたメインビジュアルから一点、区切りの年、そして新たなスタートを迎える意気込みをビジュアルに託しました。



「Short Shorts Film Festival 2003」オフィシャルウェブサイト

今年も「Short Shorts Film Festival」のオフィシャルウェブサイトをオープンいたします。映画祭インフォメーションや上映作品の紹介だけでなく、フィルムメーカーのインタビュー、映画祭に関わる人々のエピソード、実施会場にちなんだ情報など、きめの細かい情報の発信を予定しています。

アドレスは、《www.shortshorts.org》。
なお昨年度のウェブサイトも、このアドレスのバックナンバーにてご覧になれます。
名古屋会場オリジナルウェブサイトは
《<http://www.starcat.co.jp/nagoya-ssff>》



「Short Shorts Lounge」Webサイト

開催予定日程 2003年6月21日(土)～27日(金) 7日間

会 場 センチュリーシネマ
名古屋パルコ東館8階 Tel 052-264-8580
会場プロフィールに関しましては添付資料をご参照ください

主 催 ショートショート実行委員会
ショートショート名古屋実行委員会
プロデューサー 古川為茂 / スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
実行委員長 石黒稔章 / 株式会社ヘラルドコーポレーション
副実行委員長 丹羽修三 / 株式会社ヘラルドコーポレーション
スタッフ 株式会社ヘラルドコーポレーション
スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

共 催 株式会社ヘラルドコーポレーション
スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社 他

特別協力 名古屋パルコ

名古屋会場におきましては、一昨年からヘラルドグループにて運営組織を構成して開催。

毎年、3,000名(メディアラウンジのみのご利用者及び前夜祭入場者を除く)にご来場をいただきました。

名古屋会場では昨年同様、仮設の劇場としてイベント会場を借りるのではなく、常設映画館というお客様がゆったりと楽しめる空間を提供いたします。さらに、その会場はヘラルドグループにおけるカフェ、メディアが融合した新しいスペース『センチュリーシネマ』です。名古屋パルコ内という条件もフェスティバル単独の告知活動にパルコの集客活動がプラスされるという相乗効果が確実に図れます。

さらに、ヘラルドコーポレーションの普段から活用している映画宣伝ルートを始め、ヘラルドグループ営業施設による幅広い層への告知、スターキャット・ケーブルネットワークの番組・誌面・WEBによる告知等々、ターゲットを明確にしながらのアプローチが可能です。

名古屋会場上映スケジュール

1 プログラム90分程度のパッケージとし、これをA・B・C・D・E・F・(ACADEMY)・(JAPAN)の8つのパッケージプログラムに構成、これに名古屋オリジナルプログラムの「SF」「マウントポジション」を加えた構成になります。各プログラムは、完全入替制となり、プログラム単位の1回券のほか、3回分の回数券も発売されます。
 なお、名古屋会場でのチケット発売は以下のようになります。

【チケットの種類】

	《前売》	《当 日》	
1回券	1500円	一 般	1800円
		高校生・大学生	1600円(当日、受付にて)
		小学生・中学生・シニア	1100円(証明証を提示)
		駐車券サービス・PECカードサービス有り	
		当日入場料金より200円OFF	
3回券	3600円	20:45~の回	当日料金1300円

期間中、センチュリーシネマ及びヘラルドコーポレーション直営映画館のご招待券は使用できません。
 通常木曜日は女性サービスデーですが、6/26(木)はサービスを実施致しません。

【チケット発売開始日】 2003年5月23日(金)

【チケット販売】

チケットぴあ・オペレーター予約 052-320-9999
 ・Pコード予約 052-320-9966
 (Pコード:789-324)
 ・インターネット(@チケットぴあ) <http://www.t.pia.co.jp>
 劇場窓口 ・センチュリーシネマ ・ゴールド劇場 ・シルバー劇場
 ・ヘラルドシネプラザ2 ・シネプラザ4 ・シネプラザ50

【上映スケジュール(仮)】

	6/21 (土)	6/22 (日)	6/23 (月)	6/24 (火)	6/25 (水)	6/26 (木)	6/27 (金)
10:45	A	SF	D	C	ACADEMY	JAPAN	B
12:45	B	E	SF	JAPAN	F	C	ACADEMY
14:45	C	F	E	SF	A	B	D
16:45	D	ACADEMY	B	A	SF	E	F
18:45	SF	JAPAN	ACADEMY	F	D	A	SF
20:45		MP	MP	MP	MP	SF	-
6/21 18:45~「SF」中野裕之監督舞台挨拶							

名古屋オリジナルプログラム

A.M.I/e-A.M.Iプレゼンツ 「SF - Short Films」

「Samrai Fiction」「Stereo Future」に続く中野裕之監督のSFシリーズ第3弾は初のショートフィルム集。中野監督自身の3作品に加え、安藤政信、ピエール瀧といった俳優やミュージシャンの初監督作品も登場。出演には麻生久美子、村上淳、桃生亜希子、シティボーイズなどナカノワールドのメンバーたちが揃い踏み。さらに音楽もテイ・トウワ、石野卓球、グスタフ・マーラーなど豪華な顔ぶれ。中野裕之監督の来場、トークショーイベントも予定しております。

オフィシャルウェブサイト <http://www.sf3.jp/>

SSFF 期間中1日1回上映。SSFF 前売券でもご覧いただけます。

21日(土)	18:45 ~	トークショーイベント有り
22日(日)	10:45 ~	
23日(月)	12:45 ~	
24日(火)	14:45 ~	
25日(水)	16:45 ~	
26日(木)	20:45 ~	
27日(金)	18:45 ~	

『Return』 監督：中野裕之
(16分) 出演：麻生久美子 村上淳 浅田泰 田中要次
音楽：バートン木村
立川空子(麻生)はバイト先でリストラされてしまった。
給料のかわりに会社がくれたものは.....。

『県道スター』 監督：ピエール瀧
(20分) 出演：安藤政信 ゲッツ板谷 大竹奈緒子
音楽：小宮山真介 Kagami
何も起こらない千葉の田舎のヤンキー弁天さん(板谷)はUFOを探知する
能力を持ち、バイクでの追跡に明け暮れている。それを原付で追いかける
ヤワなヤンキーのゴロー(安藤)。マドンナ(大竹)との恋！超音楽的シーン
が衝撃的でパカおかしいコメディアクション作品。

『ハナとオジサン』 監督：芹澤康久
(16分) 出演：ピエール瀧 hanae 優惠
音楽：伊藤求
超美少女のハナちゃんと父親らしき男(ピエール)のホノボノした心あたた
まる短編。千葉の美しい海岸や夕焼けなども見逃せない。

『Adagietto Sehr. langsam アダージェット』
(13分) 監督：安藤政信
出演：麻生久美子
音楽：グスタフ・マーラー
幸せだった頃の天使のような妻との思い出の映像マジックがクラシックの
名曲と共にセレナーデを奏でる美しい作品。特に花火のシーンが美しい。

『仲良き事は良き事かな』
(18分) 監督：中野裕之
出演：シティボーイズ(大竹まこと、きたろう、斉木しげる) 中村有志
音楽：伊藤求
劇中曲：石野卓球
3人のおじさんの友情をオモシロおかしく描く短編となる。大学時代からの
知り合いで有る3人はかつて、同じ会社に勤めていた。リストラされたサラ
リーマンたちのホノボノした話。

『Slow is Beautiful』

(24分)

監督：中野裕之

出演：麻生久美子 桃生亜希子 森下能幸

音楽：テイ・トウワ 安田寿之

Returnの続編。田舎に帰ってから、のんびりとしたスローライフを楽しむ空子。親友のアッコ(桃生)と待ち合わせをしたのだが.....。

自然な女の子会話+麻生によるピースな劇中歌+美しい田舎の風景で癒されるキュートな短編。

「マウントポジション」

マウントポジションは映画監督渡辺一志の呼びかけによって始動した、映画のセレクトイベントです。メジャーやインディーの枠にとらわれることなく、“いま”を感じさせる優れた映画だけを独断と偏見でセレクトし、提供します。2003年のテーマはコラボレーション。映画、音楽、演劇、漫画.....。ジャンルを超えた才能たちが織りなすコラボレート、夢の饗宴へ招待します。

連日監督・出演者等によるスペシャル・トーク・イベントも予定しております。

オフィシャルウェブサイト <http://www.mountposition.com/>

22日(日)~25日(水)の20:45より上映。S S F F前売券でもご覧いただけます。

22日(日) 「kalulu」

監督：amp

出演：斉藤陽一郎 リトル・フランキー 佐藤タイジ 浅野忠信

エリートビジネスマンが突如ウサギのマスクをかぶった来訪者“kalulu”に拉致され、アフリカの荒野に置き去りにされる。そこで男は信じられない光景を目撃することになる....。

23日(月) 「日本の裸族」

監督：奥秀太郎

出演：森本訓央 松尾スズキ 阿部サダヲ 荒川良々

伊藤海 渡辺一志

孤高の映像作家、奥秀太郎が放つ、本邦初・バリアフリーヤクザ映画の誕生！致命的な欠陥を背負った人間たちの愛憎劇！

24日(火) 「続・ステイフリー～お正月だよ！全員集合～」

監督：渡辺一志

音楽：PEALOUT

出演：KEE 三輪明日美 藤谷文子 川岡次郎 渡辺一志

万年金欠無職のダメ人間コンビ、悟(KEE)と圭介(渡辺一志)のお正月を描いた、おもしろおかしく、ちょっぴり切ない物語。サブタイトル通り、前作からのキャストも登場するなど、にぎやかな豪華番外編！もちろん、『ステイフリー』も上映します。

25日(水) 「美女缶」

監督：筧昌也

出演：藤川俊生 吉居亜希子 木村文 小沢喬 溝上のりへい

ジョン・ウィリアムス

主人公健太郎は隣人がたくさん美女をはべらせて部屋から出てくる所を目撃する。あんなにブオトコな隣人になぜ？男は謎を追求するうちに一つの缶詰の存在を知ることとなる。その名は『美女缶』。

「侍ショート 全5作品」.....マウントポジションの各プログラム前に特別上映致します。

(22日のみ2作品、23~25日は1作品を上映)

監督：小島淳二 木之村美穂 高田弘隆 牧鉄馬 大岡俊彦

出演：村上淳 山咲千里 水橋貴巳 モロ師岡 小橋めぐみ 他

「ショートショート フィルムフェスティバル 2003」
名古屋会場概要

センチュリーシネマ プロフィール

名古屋パルコ東館 8階

住 所 名古屋市中区栄三丁目29番1号 TEL052-264-8580 FAX052-264-8581

OPEN 2000年12月2日

営業時間 10:00~21:00 (映画上映終了時間に合わせ21:00以降にCLOSE)年中
無休

MEDIA LOUNGE

オープンロビー

最新放送メディア体感空間 テーブル24席 PCカウンター18席 身障者用トイレ有

CATVモニター&CATVデジタル放送モニター

ケーブルインターネット(高速・大容量・常時接続)体験コーナー

スターキャットサテライトスタジオ

コンセッション 左ウイング カフェスタイル売店 軽食とドリンク(シアターへの持ち込み
OK)

右ウイング チケットカウンター

THEATRE

客席 スタジアム方式 シアター椅子 常設160席 ハイバックスタイル カップホルダー付
肘掛

横幅60cm前後間隔110cm 車椅子用エリア有

通路 中2列+両脇 各幅1m以上

映画上映方式 定員制・入替制/自由席

音響設備 ドルビーデジタルサウンド(dts)

35mm映写機 シネメカニカ全自動映写機2台

ショート・ショート フィルムフェスティバルはDVカムプロジェクターによる上映となりま
す。

よって、スクリーンサイズも下記ビスタ時より横幅が若干小さくなります。

スクリーンサイズ ビスタ時4.4m× 8.14m シネスコ時4.4m× 10.34m

「Short Shorts Film Festival 2003」

実施スケジュール(一部予定)

【東京開催】

実施日 : 2003年6月7日(土) ~ 11日(水)

6日にレセプションパーティーを実施

実施会場 : ラフォーレミュージアム原宿 特別会場: 六本木ヒルズ(ガーデンアリーナ)

主催 : ショートショート実行委員会

【札幌開催】

実施日 : 6月10日(火) ~ 15日(日)

10日は前夜祭。本祭は11日からの5日間の予定

実施会場 : 札幌アーバンホール

主催 : 札幌ショートショート実行委員会事務局

【大阪開催】

実施日 : 6月19日(木) ~ 22日(日)

実施会場 : アメリカ村ビッグステップ4階・ビックキャット

主催 : 大阪ショートショート実行委員会

【松本開催】

開催期間 : 6月21日(土)・22日(日)

実施会場 : ピカデリーホール

主催 : 松本ショートショート実行委員会

【名古屋開催】

開催期間 : 6月21日(土) ~ 27日(金)

実施会場 : センチュリーシネマ(名古屋パルコ東館8階)

主催 : 名古屋ショートショート実行委員会

【福岡開催】

実施日 : 2003年6月26日(木) ~ 7月21日(月)

実施会場 : 三菱地所アルティアム(イムズ8階)

主催 : 福岡ショートショート実行委員会

一般の方からのお問い合わせ先

ショートショート フィルムフェスティバル事務局2003 名古屋事務局

TEL.052 - 264 - 8580

報道関係の皆様からの掲載に関するお問い合わせ先

株式会社ヘラルドコーポレーション センチュリーシネマ

〒460 - 0008 名古屋市中区栄3 - 29 - 1 名古屋パルコ東館8階

TEL.052 264 8580 FAX.052 264 8581

担当:石黒・丹羽